

2025年12月19日

香港における福岡県の工芸品・美術品販売の可能性について

香港事務所長 山本 大祐

1. 香港における工芸品・美術品の現状について

香港は親日的な都市として知られ、生活のあらゆる面で日本文化が浸透している。香港には多くの日本産食品が輸入されているほか、日系小売店や大手外食チェーンなど多く進出しており、香港の街並みに馴染んでいる。

また、大館 (Tai Kwun) や元創方 (PMQ) といった香港の最新の文化・芸術の発信拠点や、各地にあるナイトマーケットのような露店でも工芸品・美術品が販売されていることからも、香港人の関心の高さがうかがえる。そのなか、日本の工芸品・美術品については、日系量販店をはじめ多くの店舗で販売されており、香港の人にとって馴染みのあるものも多い。

さらに、香港人にとって福岡県は、あまおうやラーメンなどの食文化の知名度が高く、さらに人気の旅行先であることから、県産工芸品・美術品を福岡の食文化などと連携したPRによって、販路拡大ができるのではないかと考えている。

2. 県産工芸品・美術品の香港での販売実現までの経緯

当事務所が工芸品・美術品の販売について取り組んだきっかけは、本年8月に県内事業者から、「香港での工芸品・美術品の販売先を探してほしい」との依頼を受けてのことである。そこから、県産工芸品・美術品を初めて販売するのにふさわしいのはどのような店舗なのか、当事務所が芸術に関わる香港人などにヒアリングを行った。

その結果、香港人が工芸品・美術品を選ぶ際に、作品が作られた土地の文化、歴史等のストーリーを重要視していることがわかった。そこで「日本人が経営する工芸品・美術品店」であれば、取扱う工芸品・美術品の特徴をよく理解し、そのストーリーも顧客に丁寧に説明することができ、最初に販売するのに適していると判断し、日本の産業機器等を扱う Yokoyama Technology (Hong

Kong) Limited が運営する ARTS & CRAFTS STUDIO と県内事業者を繋いだ。ARTS & CRAFTS STUDIO は上述の元創方 (PMQ) にあり、工芸品・美術品に興味のある香港人や旅行客が多く訪れる非常に注目度の高い人気の施設である。当事務所は、県内事業者から定期的に交渉の進捗状況をヒアリングしながら、ARTS & CRAFTS STUDIO にも通い、福岡県のPRや事業者と連携して販路拡大に取り組んでいることを説明した。

その結果、本年 11 月より依頼元の事業者の博多織の商品と県内アーティストの美術品を販売することとなった。



【写真】博多織の商品

3. 県産工芸品・美術品のさらなる販売に向けて

香港は工芸品・美術品への関税が無税であるため、日本から近い韓国、台湾及び中国本土と比較して、工芸品・美術品を輸出するうえで有利である。

しかし、日本の自治体による食品輸出やインバウンドのPRの開催数と比較すると、工芸品・美術品の販売促進のPRは少ない。そこで、当事務所としては積極的に県産工芸品・美術品を香港で販売することに注力していくたいと考えている。

また、ARTS & CRAFTS STUDIO で販売を始めた県産工芸品・美術品は、一時的ではなく継続して販売される予定である。世界的なアートの展示会「Art Basel Hong Kong」が開催される3月には、元創方 (PMQ) に最も香港人や観光客が訪れる事から、当事務所ではその時期にも県産工芸品・美術品を取扱ってもらえるよう、引き続き ARTS & CRAFTS STUDIO との関係を維持していきたいと考えている。

当事務所では、今後も県産工芸品・美術品の継続販売及び取扱を増やしていくために、定期的な訪問、魅力ある商品の紹介を行うこととしている。さらに、レストランなどで県産食材と工芸品をセットにして販売するといった販売促進PRなどを行い、県産工芸品・美術品の輸出拡大に取り組んでいく。

香港での販路拡大や自社の工芸品・美術品などの販売の可能性調査など、ご関心があれば当事務所までお気軽にご相談いただきたい。